

令和6年度 第2回桜島支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日時	令和6年10月31日 18時00分～19時30分
場所	桜島支所2階大会議室
出席者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局、さくらじま地域おこし協力隊
会次第	<p>○協議事項</p> <p>① 地域と共に創るまちづくりプラン継続事業進捗状況報告（事業説明）</p> <p>② 「地域と共に創るまちづくりプラン」改定について（意見交換）</p>
主な意見等	<p>① 地域と共に創るまちづくりプラン継続事業進捗状況報告（事業説明）</p> <p>【各委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店連携のワークショップでは、自己紹介をするなど事業者同士の関わりがあればよい。 ○ 島外イベントは人員を割くのが大変なので、島内でのイベントが増えていけばよい。 ○ 出店時には桜島の物を使ったものを出すなどのルールがあればやりやすい。 ○ iko てらすは夏場に利用客が多いため、現在進めているフリーダイビングと関連して人が訪れるように進めて、それが移住にまで繋がればよい。 ○ iko てらすでの体験交流に関しては、コミュニティカフェの活用や体験メニューでの交流など、自然に交流できる仕組みができるとよい。 ○ スマホ教室は参加者に楽しんでもらっており、暮らしを豊かにということをゴールとして進めているが、自走するには課題もある。 ○ スマホ教室を地域の集まりの場やコミュニティで実施することができれば繋がりができ、今後に期待できる。 ○ デジタルの推進もこども110番のように意思表示があれば、スマホを教えてほしい人も相談しやすいのではないか。 <p>② 「地域と共に創るまちづくりプラン」改定について（意見交換）</p> <p>【各委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 足湯公園は手軽に来れる夜景のきれいな場所なので、夜のイベントなどで活用できればよい。 ○ つばき油は販売の許可などもあり難しい部分もあるので、そういうことも含めて検討しなければならない。 ○ 桜島で作ったものであれば売れる。桜島大根に桜島小みかん、最近では味噌も売れている。 ○ 農産物を加工して売るには量が必要で、現時点ではそこが課題である。 ○ スマホ教室はアットホームな感じでみんなの顔が笑っており、効果があったと感じる。小さなことからコツコツと進めていければよい。 ○ 桜島は昔と比べてお土産品が少なくなっていると感じる。 ○ 魅力体験コンテンツの創出にダイビングトレーナーによる体験も入れてもらえれば。そういった専門性を持った方たちを活かしていければよい。 ○ 地域内には桜島で作ったものを使いたいというお店もあるので、提供できる生産者と繋ぎ合わせれば、飲食店の連携という形で活かしていけるのではないかと。 ○ 支所に予算が出ているうちに、桜島地域のビジョンづくりや事業実施のための自主財源づくりができればよい。 <p>【地域活性化アドバイザー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人が幸せに暮らせるというのが大事で、共創事業は1つの手段。 ○ みんながどう幸せに暮らせるか深掘りして、地域が実施し、支所は側面から地域ができないところを支援しながらやっていければよい。